

岐阜県産の花で飾ろう私の学校・種まき体験

作成者：一般社団法人 寄せ植え華道協会 事務局

■ 実施主体

名称：一般社団法人 寄せ植え華道協会

担当窓口：事務局

所在地：岐阜県可児市瀬田1591-1

H P：yoseuekadou.com



■ 団体等構成 花や植物の生態、管理方法、植栽のデザイン等の専門知識を持つ会員で構成

(花育に関しては当協会の正師範資格を有するものが担当)

■ 取組地域 岐阜県内 12校 (小学校9校、中学校2校、特別支援学校1校)

■ 概要

早春から春に咲く花（パンジー・ストック）の種をまき、育てた苗を活用して卒業式などの花飾りにする。また育った花苗を使った寄せ植えを作成する。

「寄せ植え華道」とは

寄せ植えの技術に日本古来の華道、盆栽などの「和」の文化と、ガーデニング、フラワーデザインなどの「欧米」の文化を融合させ、容器や庭などある一定の空間に植物を植栽し、生活空間を装飾するものである。植栽する植物の選定と組み合わせにあたっては、植物の特性、形や色彩、材質を考慮し、物語性、芸術性を追求する。さらに、作品を作成するまでの技術的、精神的課程及び作品の成長に即した維持管理や作品を鑑賞する心の充足など、作品に関する課程のすべてを極めるものである。

このような専門知識を有する指導者が花育の指導にあっている。

■ 取組開始時期・経緯

2014年から岐阜県内での活動が始まり2016年で3年目の活動となる。

2016年の開催時期

8月30日 種まきの1週間前に学校との打ち合わせを行う。

9月7日 種まきを実施。

■ 目的

- ・岐阜で栽培の盛んな植物を育てることを通して、地元の産品について興味を持つことができる。
- ・種から育てることで植物の成長の過程を知ることができる。
- ・水やりなど世話をすることで植物に対する愛情を持ち、育てることの楽しさを感じ、花に対し興味や関心を持つことができる。
- ・育てた苗を使って卒業式の花飾りを作成する。

【取り組み内容】

- 対象者・人数：小学校4年生 1クラス8名
- 教 科：総合的な学習の時間
- 所要時間：2時限（90分）
- 対象場所：小学校 教室
- 指導者：1クラスに講師3名

＜種まき体験＞

春咲きの植物を種まきして、苗から育てる。

（育てた苗は、4種類の活用方法を選んで実践する。

1. 寄せ植え 2. ハンギングバスケット 3. フラワーアレンジメント 4. いけばな)

※今回の学校は、寄せ植えを選択した。

■ 資材

- ・種 2種類（パンジー・ストック）
- ・セルトレイ
- ・種まき用土
- ・ビニールポット（鉢上げ用）
- ・鉢上げ用用土
- ・カップ（水入れ・種入れ）各自に2個（学校で準備）
- ・つまようじ（一人2本）（学校で準備）

■ 用具

セルトレイに土を入れるために必要なもの
 プラ舟・板・底面給水用の器（育苗トレイで代用）
 ジョウロなど

■ 活動内容（指導内容）

- ・種まきへの興味を持たせるための話（クイズ形式・紙芝居など）
- ・セルトレイに種を一粒ずつまく。
- ・種まき後の管理方法（水のやり方、置き場所など）
- ・発芽した苗の鉢上げの仕方。

1. 導入

種に対する興味づけ「種のお話」
 身近な植物の種や変わった種などの
 例をあげて何の種か、クイズ形式で質問する。





種の標本（11種類の種を用意）

- | | | | |
|-------|----------|----------|---------|
| ①ごま | ②松の実 | ③ナスタチューム | ④ヒマワリ |
| ⑤アボガド | ⑥カラスウリ | ⑦ニラ | ⑧ネコジャラシ |
| ⑨ニガウリ | ⑩フウセンカズラ | ⑪スズメウリ | |



どの植物の種でしょうか？

2. 準備

- ・種まき用土に水を含ませる。



3. セルトレイに土を入れる。

- 湿らせた用土をセルトレイに詰める。
- 表面を板ですり切りながら隙間なく用土を入れる。土を入れ板ですり切る。



4. 種まき開始

- セルトレイに、つまようじを使って種をまく。
- まき終わったところにはつまようじを挿し目印とする。



5. 覆土

まき終わったセルトレイには、フルイを使って細かい土を覆土する。



6. 水やり

セルトレイに新聞紙をかける。
新聞の上からジョウロで水をまき給水させる。
(ジョウロで、用土の上から水をかけると種が流れてしまうので必ず新聞紙の上から水をかける。)
水やりの仕方など説明する。



7. 鉢上げ

発芽したものを持参し実際にビニールポットに鉢上げをする。
箸を使うとよい。



8. 管理方法の説明

- ・置き場所 雨が直接当たらない場所
日当たりがよく風通しの良いところ。
- ・肥料について 鉢上げの後に肥料を与える
肥料はどんなものが良いか与える量など説明する。



9. 最後に紙芝居

「種は旅をする」

自然界では種はいろんなものを媒介して
運ばれ居心地の良いところで発芽する。



■ 紙芝居「種は旅をする」



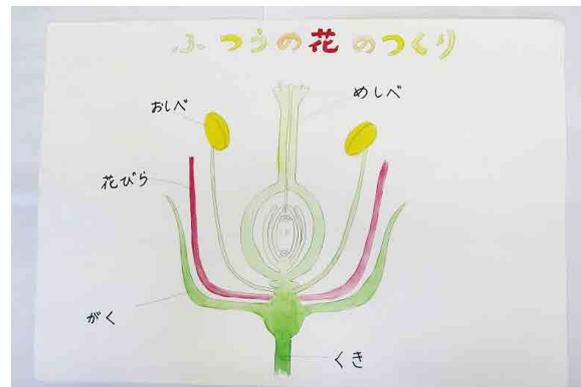
①宇宙で育てたレタスの味は？



④ミツバチは、花の色がわかるかな？



②タネは、色々なところに運ばれる



⑤花のつくり



③花はどうしてきれいなのかな？



⑥パンジーとビオラの違い

■ 指導のポイント

単調な作業のため、飽きないように話しかけながら一緒に作業を進める。

種に対して興味を持たせるように工夫をする。（種のお話・紙芝居など）

なるべく子供たち自身で出来るように道具や方法を工夫した。

底面給水は持ち運びがしやすいように苗入れにビニールを敷きコンパクトにする。



■ 経費

種まき用、鉢上げ用の材料・資材・種は岐阜県より配布。

その他の物は、プリンカップ、つまようじ、苗入れなど身の回りにあるものを活用。

■ これまでの成果

- ・これまで授業ではヒマワリ、アサガオなど比較的大きな種はまいて育てる経験はしているがパンジー、ストックなどの細かい種まきは初めてで、根気よく丁寧に蒔くことを体験することにより愛着がわく。
- ・家庭での野菜や草花を育てることに積極的に参加することができるようになった。

■ 参加者からの感想

<児童>

- ・種まきは大変だったが、花の咲くのが楽しみだ。自分が親になった気持ちで大切に育てたい。
- ・こんな小さい種がきれいな花になることを初めて知った。
- ・育てた花を飾ることが楽しみ。
など、やがてきれいな花が咲くことをイメージすることができた。

■ 今後の課題やその改善方法

- ・今回は、パンジー・ストックの花苗を使用しているが野菜などの種をまくことも良いのではないか。
- ・蒔き方も一律ではなくいろいろな蒔き方（たねダンゴ、直播など）も提案できると良い。